

九州経済産業局は、毎月の定例記者会見内に九州の中小企業を紹介するコーナーを設けた。人手不足や後継者不足に伴う事業継承といった課題解決のヒントになり得る企業を積極的に発信する狙い。

初回の12日は、昨年経済産業省の「地域未来牽引企業」に選ばれた、めっき加工会社「九州電化」(福岡市)の山田登三雄社長が事業概要などを報告した。

JR九州(同)の豪華寝台列車「ななつ星in九州」の内外装やがん治療装置のめ

魅力ある中小企業紹介

九州経産局 毎月の定例会見で

めっき加工を手掛けたほか、フレックス勤務の導入、化粧部屋の設置、託児所への送迎を会社が引き受けるなど、働きやすい職場環境整備にも取り組む。山田社長は「中小にとって働き方改革は難しいが、できることから進めている」と語った。

今後、九州に319社ある地域未来牽引企業などを毎回1社ずつ紹介する。高橋直人局長は「中小企業の課題解決のモデルケースを示すとともに、九州の元気な企業を国内外にアピールしたい」と話した。

(星野榮)

